



新堀小だより

4月号
令和8年4月8日発行
校長 川南 真一

笑顔・挑戦・誇り 学校有用感あふれる新堀翔楽光(しょうがっこう)

新堀小 HP



伝統・誇りを創る

【ご入学・ご進級おめでとうございます】

保護者ならびに地域の皆様、このたび、新座市立新堀小学校第16代校長として着任いたしました、川南 真一(かわみなみ しんいち)でございます。歴史ある新堀小学校で勤務できることを大変うれしく思うとともに、その重責を深く受け止めております。

4月1日の朝、学校に到着後、まず校庭に足を運びました。体育館側から望む校舎と桜の景色が私は昔から好きです。私事ではありますが、教諭時代にも本校に勤務し、子供たちの指導に当たっておりました。このたび16年ぶりに新堀小へ戻ってまいり、あらためて責任の重さを感じております。16年前と比べると、校舎や周辺環境は大きく変わりました。教育内容や教材・教具も刷新され、当時とは大きく様変わりしています。

その一方で、変わらないよさが本校には確かにあります。前任の若林 寿校長先生が築き上げてこられた取組と成果を大切に継承しつつ、私自身の新たな学びと工夫を加え、より良い学校づくりを進めてまいります。保護者・地域の皆様のお力添えを賜りながら、子供たちが安心して学び、成長できる学校経営に全力で取り組む所存です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【学校に誇りを】

新堀小学校はコミュニティ・スクールとして、多様な教育活動を展開してまいりました。これまでの取組を常に見直し、改善を重ねながら新たな施策へと発展させることで、より一層の深化が図れると考えております。校長として、児童・保護者・地域・教育委員会など、学校を支える全ての関係者の皆様が「新堀小学校はいい学校」と誇りを持つことこそ、最大の賛辞であると受け止めております。すべての関係者が自信と誇りを持って前進できるよう、より良い学校経営を推進し、自己有用感になぞら

えた「学校有用感」を高める運営を目指してまいります。

また、6年間通う児童には、学校に通う意義と学ぶ喜びを日々実感してほしいと願っています。翔ばたくように元気よく登校し、学びを楽しみ、光輝く気持ちで下校できる学校——「新堀翔楽光(しょうがっこう)」の実現を目指します。併せて「笑顔・挑戦・誇り 学校有用感あふれる新堀翔楽光(しょうがっこう)」をイメージして、学校全体で取組を進めてまいります。

この16年間で、社会は大きく、かつ急速に変化してきました。「不易流行」という言葉が示すとおり、教育においては、普遍的で本質的なものを大切にしつつ、新たな価値や変化も積極的に取り入れ、両者を調和させることが重要です。不変の価値と時代に即した取組を融合させながら、着実に学校経営を進めてまいります。

児童数430名、17学級で新たなスタートです。今後とも、皆様のあたたかいご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【お願い ご理解を】

私自身、16年ぶりに新堀小学校に戻ってまいりました。地域に当時の卒業生や保護者の皆様がおられましたら、お時間の許す範囲で本校の教育活動にお力添えいただけますと幸いです。まずはお近くにお越しの際、ぜひ学校ならびに校長室へお立ち寄りください。

また、本校ではさまざまな教育活動や取組を進めております。機会を捉え、マスコミ・報道機関への情報提供も検討しております(撮影等につきましては一定の配慮を行います)。あく



まで個人ではなく、学校としての情報発信を主眼としております。何とぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。